



# ISO/IEC 27000ファミリー規格 最新動向

一般財団法人日本情報経済社会推進協会  
畔津 布岐  
ISO/IEC JTC 1/SC 27/WG 1国内委員会幹事

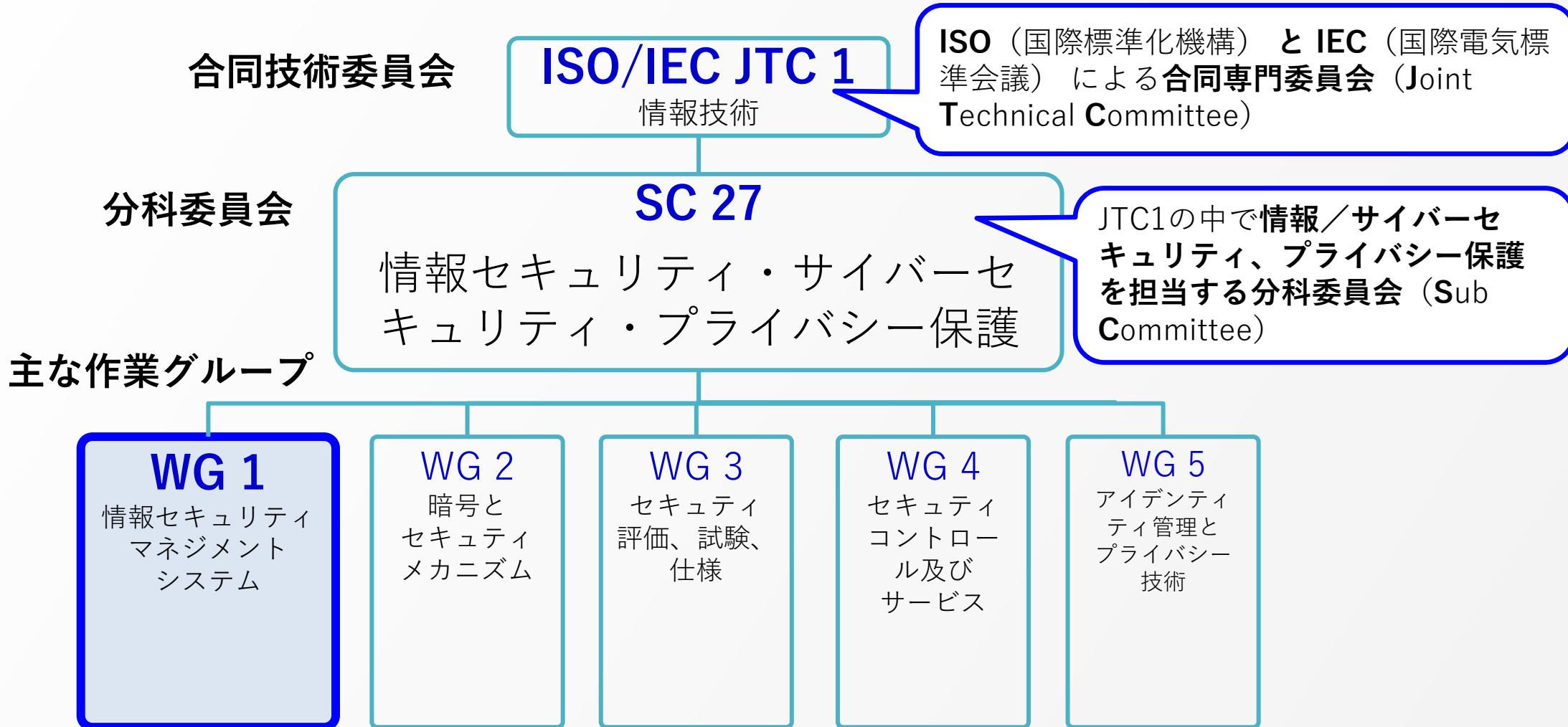
2025年12月5日

# CONTENTS

1. ISO/IEC 27000ファミリー  
規格の最新状況
2. 関連するマネジメントシステム規格の動向

01

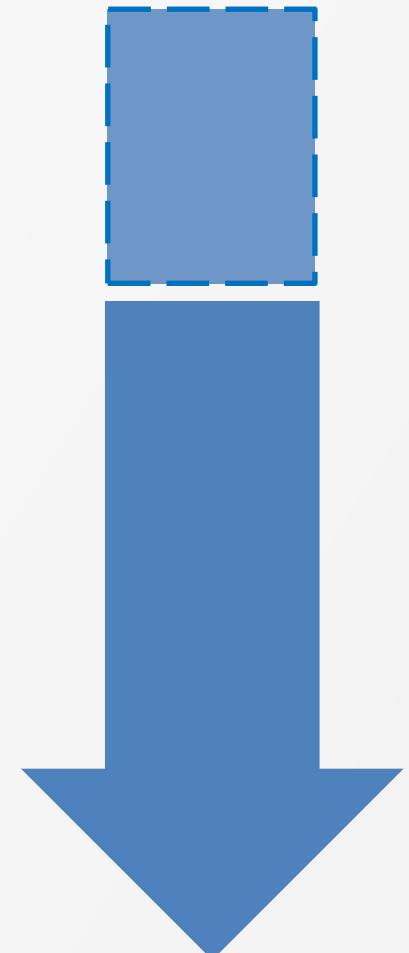
# ISO/IEC 27000ファミリー規格の 最新状況



( <https://www.iso.org/committee/45306.html> )

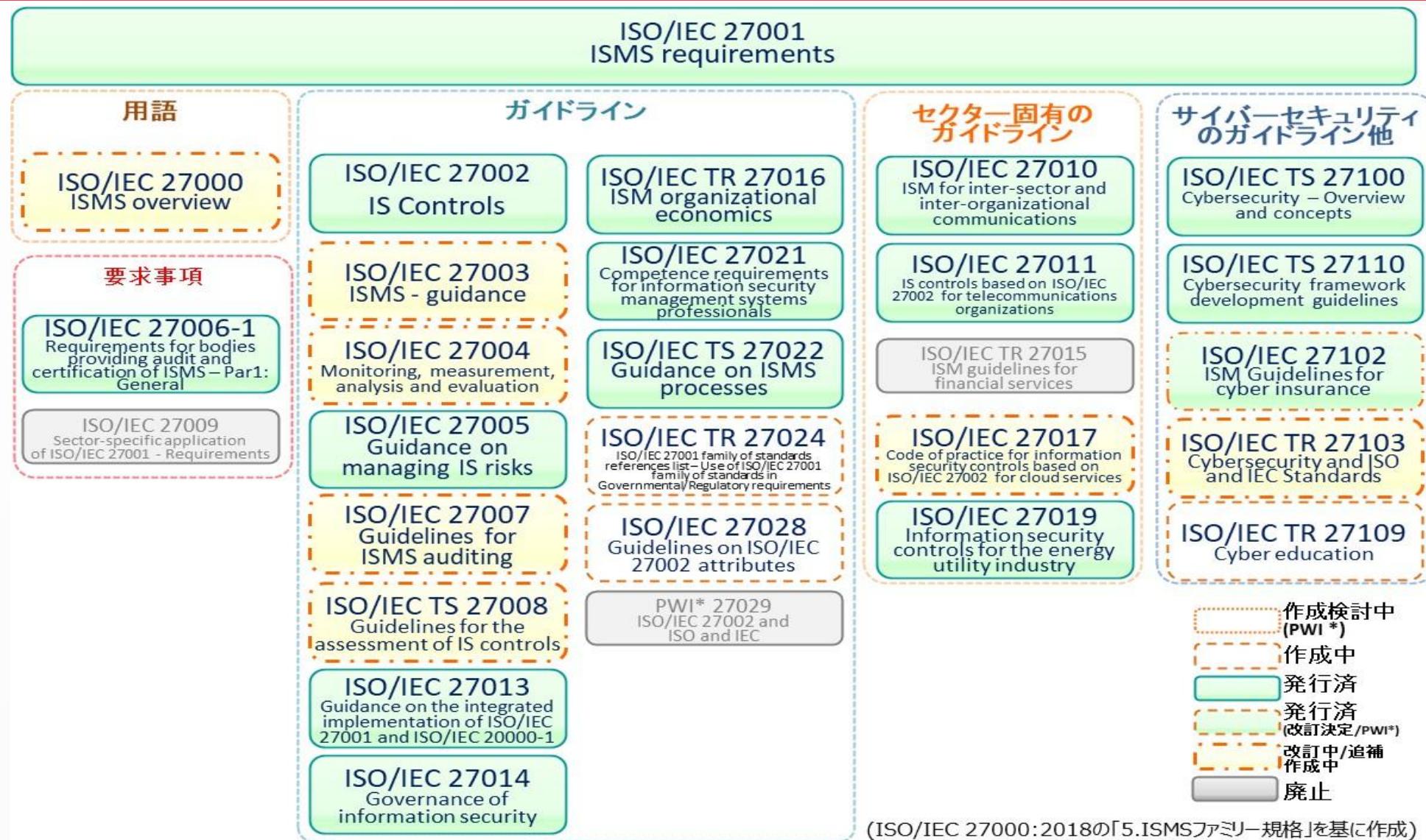
# ISO規格作成のプロセス

プロジェクト段階	関連文書の名称	略称
予備段階	Preliminary Work Item(予備作業)	PWI
提案段階	New Work Item Proposal (新規提案)	NP
準備段階	Working Draft(作業原案)	WD
委員会段階	Committee Draft(委員会原案)	CD
照会段階	Enquiry Draft(国際規格案)	DIS
承認段階	Final Draft International Standard (最終国際規格案)	FDIS
発行段階	International Standard (国際規格)	ISO



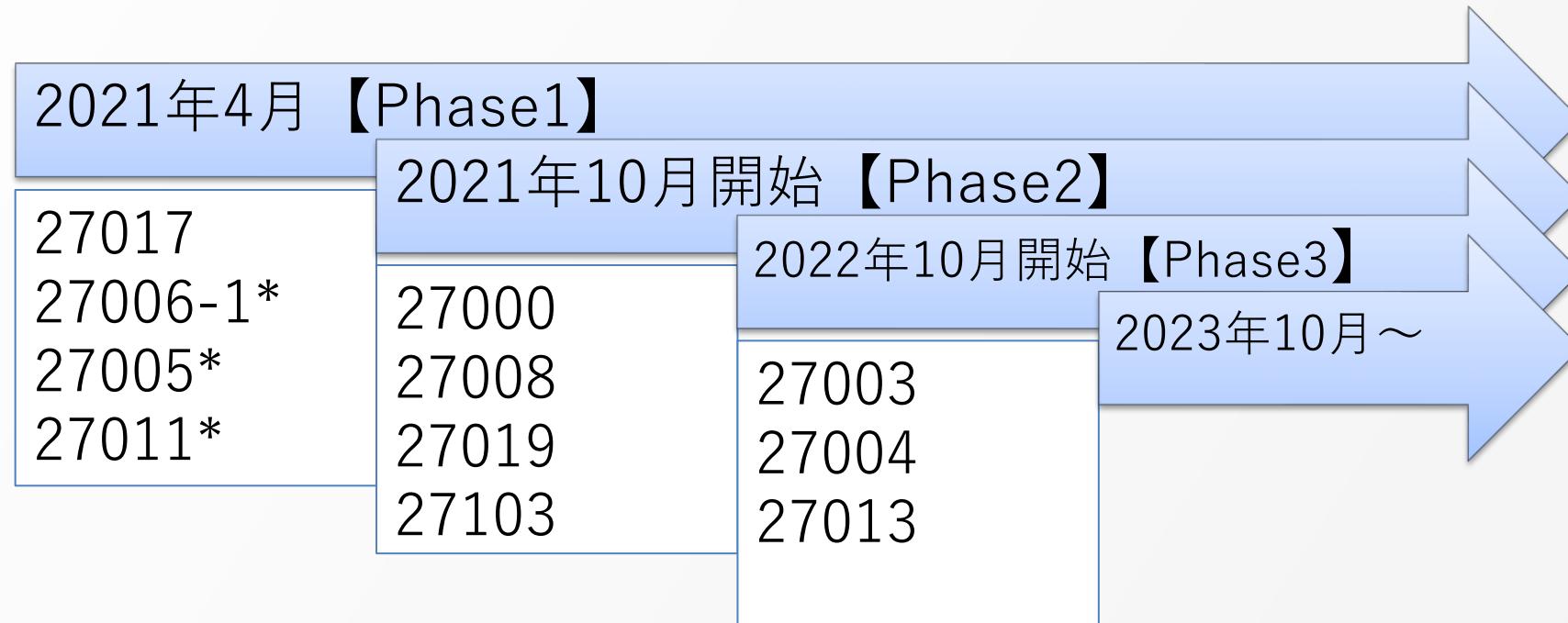
規格プロジェクト期間（準備段階を起点）は、18／24／36か月（延長は1回のみ9か月まで）

# ISO/IEC 27000ファミリー規格とは



■ ISO/IEC 27002:2022、ISO/IEC 27001:2022に合わせて、  
順次、改訂を実施中

- ISO/IEC 27002がDIS段階となった時点で開始



\* 2021年4月時点で改訂中であったため、その改訂の中で対応

# ISO/IEC 27000ファミリー規格の改訂状況



規格番号	内容	発行年	改訂段階
27000	ISMS - 概要及び用語	2018年	DIS
27001	ISMS要求事項	2022年	(JIS発行)
27002	情報セキュリティ管理策	2022年	
27003	ISMSの手引	2017年	2nd CD
27004	情報セキュリティマネジメント – 監視、測定、分析及び評価	2016年	CD
27005	情報セキュリティリスクマネジメント指針	2022年	
27006-1	ISMS認証機関に対する要求事項	2024年	
27706 (WG5)	プライバシー情報マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項	2025年	
27007	ISMS監査の指針	2020年	CD
TS 27008	IS管理策の評価の指針	2019年	3rd CD

# ISO/IEC 27000ファミリー規格の改訂状況



規格番号	内容	発行年	改訂段階
27010	セクター間及び組織間コミュニケーションのための情報セキュリティマネジメント	2015年	
27011	ISO/IEC 27002に基づく電気通信組織のための情報セキュリティ管理策	2024年	
27013	ISO/IEC 27001とISO/IEC 20000-1との統合導入についての手引	2021年	
27014	情報セキュリティのガバナンス	2020年	
TR 27016	情報セキュリティマネジメントの組織の経済的側面	2014年	
27017	クラウドサービスのための情報セキュリティ管理策	2015年	DIS
27018 (WG 5)	パブリッククラウドにおける個人識別情報 (PII) 処理者向けのPII保護に関する指針	2025年	
27019	エネルギー業界のための情報セキュリティ管理策	2024年	
27021	ISMS専門家の力量に関する要求事項	2017年	
TR 27022	ISMSプロセスに関する手引	2021年	

# ISO/IEC 27000ファミリー規格の改訂状況



規格番号	内容	発行年	改訂段階
TR 27024	各国の規制要求事項等におけるISO/IEC 27001ファミリー規格の使用	(開発中)	CD
27028	ISO/IEC 27002の属性の利用に関する手引	(開発中)	DIS
27701 (WG5)	プライバシー情報マネジメントシステム—要求事項 及び手引	2025年	
TS 27100	サイバーセキュリティの概要及びコンセプト	2020年	
27102	情報セキュリティマネジメント—サイバー保険のためのガイドライン	2019年	
TR 27103	サイバーセキュリティとISO及びIEC規格	2018年	2nd DIS
TR 27109	サイバーセキュリティに関する教育・訓練	(開発中)	
TS 27110	サイバーセキュリティフレームワーク策定の指針	2021年	

- 「ISO/IEC 27000ファミリー規格の改訂状況」は、ISO/IEC JTC 1/SC27/WG 1で開発・改訂中の規格の一覧を掲載しています。
- 一部、WG5で改訂されたISMSに関する規格を掲載しています。

## 【規格概要】

- 規格番号・タイトル：  
**JIS Q 27001：2025** (ISO/IEC 27001：2022+Amd 1：2024)  
情報セキュリティ、サイバーセキュリティ及びプライバシー保護－  
情報セキュリティマネジメントシステム－  
要求事項 (追補1)
- ISO/IEC 27001:2022/Amd 1:2024に対応するJIS規格であり、  
JIS Q 27001:2023を改正した追補の内容だけを示す。

※ JIS規格とISO規格では、追補に関する規格番号・発行年の表記が異なるため注意が必要  
(JIS規格では、基になる規格番号に、直近の追補の発行年だけを付記する。したがって、JIS Q 27001:2023/追補1:2025という表記ではなく、JIS Q 27001:2025となる。  
詳細は、JIS Z 8301:2019「規格票の様式及び作成方法」を参照)

## 【規格概要】

- 現行版（2018年版）は、ISO/IEC 27000ファミリー規格の概要、ISO/IEC 27000ファミリー規格において使用される用語等について規定した規格
- ISO/IEC 27000ファミリー規格で使用される用語を集めた用語集の位置づけ
- 関連するISO/IEC 27000ファミリー規格の策定・改訂に対応する必要があるため、比較的短期間で改訂を実施しており、現在は第5版

## 【改訂の状況】

- ISO/IEC 27001:2022、ISO/IEC 27002:2022に伴う更新と内容の見直しを実施中
- ISO/IEC 27001ファミリー規格の用語集という位置づけではなくなる予定
  - これに伴い、タイトル等を変更予定  
ISO/IEC 27000:2018 :  
Information security management systems —  
**Overview and vocabulary**  
→  
DIS 27000 :  
Information security management systems —  
**Overview**
- 情報セキュリティの概念及び原則を追加
- 2025年12月にDIS審議を実施予定

## 【規格概要】

- ISO/IEC 27001: 2013に規定するISMSの要求事項に対するガイダンス規格
- ISO/IEC 27001の構成に沿って、ISMSを構築する際のガイダンスを、要求される活動 (Required activity) 、説明 (Explanation) 、ガイダンス (Guidance) 、関連情報 (Other Information) という項目毎に記載

## 【改訂の状況】

- ISO/IEC 27001:2022 に対応するための改訂検討を2022年10月に開始
- 2025年9～10月に複数回会議を開催してCDに対するコメント(約400件)審議を実施し、2nd CDに進むことになった
- タイトル・適用範囲について、明確化のために若干変更予定

## 【規格概要】

- ISMS監査の実施に関するガイドライン規格。
- ISO 19011:2018（マネジメントシステム監査のための指針）に加えて、ISMS固有の監査に関する指針を提供する規格
- 本文の構成はISO 19011:2018に沿っており、附属書AにISMS監査の実践における詳細な手引を記載

## 【改訂の状況】

- ISO/IEC 27001:2022、ISO 19011改訂に対応するための改訂を2024年4月に開始
- 2025年9月のWG1国際会議で1st WDの審議を終了し、CDに進むことになった
- 2025年11月より CD投票を実施中

## 【規格概要】

- ISO/IEC 27002に基づいて、クラウドサービス向けの情報セキュリティ管理策に対するガイドラインを提供する規格
- ITU-T\*との共同規格である  
\*ITU-T : International Telecommunication Unionの  
Telecommunication Standardization Sector

## 【改訂の状況】

- ISO/IEC 27002 :2022に沿って、構成・内容を更新
- クラウドサービスに関する最新技術や脅威の動向を反映する方向で改訂中
- 2025年7月開催の会議でDIS審議を終了し、FDISに進むことになった
- 現在、FDIS発行待ち

## 【規格概要】

- タイトル : Information security, cyber security and privacy protection – Guidance on ISO/IEC 27002 attributes
- ISO/IEC 27002:2022で新たに採り入れた属性 (Attribute) の利用及び作成に関する手引

## 【改訂の状況】

- 2025年5月にDIS審議を実施した結果、タイトル・適用範囲と内容が乖離していることから、タイトル・適用範囲を変更することになった。  
変更予定のタイトル : Information security, cybersecurity and privacy protection — Guidance on using information security control attributes
- 現在、2nd DIS発行待ち

## 02 関連するマネジメントシステム規格の動向

## 【規格概要】

- ISO/IEC/ JTC 1/SC 27/ WG 5で開発され、1999年に第1版発行後、2025年に第2版発行
- タイトル：情報セキュリティ、サイバーセキュリティ及びプライバシー保護—プライバシー情報マネジメントシステム—要求事項及び手引
- PIIを取り扱う（処理する）組織について、PII管理者とPII処理者の2つの役割を定義し、それぞれの役割において、PII処理に関する要求事項を規定

## 【旧版からの主な変更点とISMSとの関連】

- 旧版（ISO/IEC 27701:2019）は、ISO/IEC 27001及びISO/IEC 27002の拡張であったが、ISO事務局におけるマネジメントシステム規格に関する方針により、ISO/IEC 27001からは独立したマネジメントシステム規格となった
- これによりタイトル、適用範囲、構成を変更（内容は旧版を継承）
- ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）は必須ではなくなったが、依然として情報セキュリティ対策は必要

## 【規格概要】

- ISO/IEC/ JTC 1/SC 42/ WG 1\*で開発され、2023年に第1版発行  
\*ISO/IEC/ JTC 1/SC 27/ WG 1小委員会とリエゾン関係にある
- タイトル：情報技術－人工知能－マネジメントシステム
- AIシステムを開発、提供又は利用する組織を対象とし、組織がAIシステムを適切に開発・提供・利用するために必要なマネジメントシステムを構築する際の要求事項を規定
- 2025年8月に対応JIS規格JIS Q 42001:2025が発行された

## 【ISMSとの関連】

- ISOマネジメントシステム規格に共通の構成・要求事項
- ISO/IEC 27001と同様に、リスクベースアプローチ（リスクアセスメント、リスク対応）を採用しており、附属書Aに9つの目的と38の管理策を記載
- 附属書Bに、管理策のガイドラインを記載（ISO/IEC 27002と同様の位置づけ）

## 【ISO/IEC 42001:2023の管理策】

### ■ A.2 AIに関連する方針

- A.2.2 AI方針
- A.2.3 他の組織方針との整合性
- A.2.4 AI方針のレビュー

### ■ A.3 内部組織

- A.3.2 AIの役割及び責任
- A.3.3 懸念事項の報告

### ■ A.4 AIシステムの資源

- A.4.2 資源の文書化
- A.4.3 データ資源
- A.4.4 ツール資源
- A.4.5 システム及び計算の資源
- A.4.6 人的資源

### ■ A.5 AIシステムのインパクトのアセスメント

- A.5.2 AIシステム インパクトアセスメントのプロセス
- A.5.3 AIシステム インパクトアセスメントの文書化
- A.5.4 個人又は個人の集まりに対するAIシステムのインパクトのアセスメント
- A.5.5 AIシステムの社会的インパクトのアセスメント

### ■ A.6 AIシステムのライフサイクル

- A.6.1 AIシステム開発のためのマネジメント手引
  - A.6.1.2 AIシステムの責任ある開発の目的
  - A.6.1.3 AIシステムの責任ある設計及び開発のプロセス
- A.6.2 AIシステムのライフサイクル
  - A.6.2.2 AIシステムの要求事項及び仕様
  - A.6.2.3 AIシステムの設計及び開発の文書化

- A.6.2.4 AIシステムの検証及び妥当性確認
- A.6.2.5 AIシステムの展開
- A.6.2.6 AIシステムの運用及び監視
- A.6.2.7 AIシステムの技術文書類
- A.6.2.8 AIシステムのイベントログの記録

### ■ A.7 AIシステムのデータ

- A.7.2 AIシステムの開発及び強化のためのデータ
- A.7.3 データの取得
- A.7.4 AIシステムのためのデータの品質
- A.7.5 データの来歴
- A.7.6 データ準備

### ■ A.8 利害関係者のための情報

- A.8.2 利用者向けシステム文書及び情報
- A.8.3 外部報告
- A.8.4 インシデントの伝達
- A.8.5 利害関係者のための情報

### ■ A.9 AIシステムの利用

- A.9.2 AIシステムの責任ある利用のためのプロセス
- A.9.3 AIシステムの責任ある利用のための目的
- A.9.4 AIシステムの意図した用途

### ■ A.10 サードパーティ及び顧客との関係

- A.10.2 責任の割当て
- A.10.3 供給者
- A.10.4 顧客

## 【AIMS適合性評価制度の開始】

- 2025年7月に、  
ISO/IEC  
42006:2025 (AIMS  
認証機関に対する  
要求事項) 発行
- これを受けて、  
2025年7月に、  
ISMS-AC (情報マ  
ネジメントシス  
テム認定センター)  
がAIMS適合性評価  
制度を開始

### AIマネジメントシステムの認証を対象とした 認定の開始のお知らせ



2025年7月8日  
一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター  
(ISMS-AC)

2025年7月7日、AIマネジメントシステムを対象とした国際規格である ISO/IEC 42001<sup>\*1</sup>の審査及び  
認証を行う機関に対する要求事項 ISO/IEC 42006<sup>\*2</sup> (認証機関の認定基準) が発行されました。

これに伴い、当センターは、ISO/IEC 42001の審査及び認証を行う機関の認定を開始しましたので、  
お知らせします。

認定の申請手続等については、当センターに直接お問い合わせください。

(<https://isms.jp/topics/news/20250820-1.html> )

